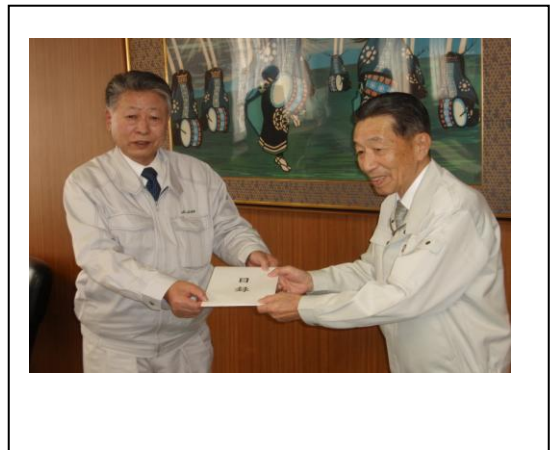


<茂木 J A 全中会長の訪問>

- ・ 3 月 25 日(金)、茂木 J A 全中会長と富士 J A 全中専務理事が、岩手県産業会館・岩手五連を訪問し、長澤 J A 岩手県中央会会長、門脇副会長、朝倉同常務、法領田 J A 岩手県信連理事長、小野寺 J A 岩手県厚生連常務、杉本 J A 全農いわて本部長、柳本 J A 共済連岩手本部長らと会談した。
- ・ 茂木 J A 全中会長が、今回の震災に対し御見舞いと哀悼の意を表された後、「震災から 2 週間経過した。長澤会長はじめ岩手県五連の対応に感謝・敬意を表する。全国連でも対策本部を設置し、毎日幹事会を開いているが、現地で生の声を聞き、現場に足を運びたいと思い、今回訪問させていただいた。22 日に新潟経由で宮城・福島に入り、切実な生の声を聞き、昨 24 日、鹿野農水大臣、筒井・篠原両農水副大臣に対し現地の声を伝え、「できるだけのことをする」との返答も得ている。28 日(月)に官房副長官、幹事長にも生の声を伝え、政府・与野党にも要請していく。協同組合の精神を見せるときであり、全国を挙げて被災地を支援したい」旨、御見舞いの言葉を述べられた。
- ・ 長澤 J A 岩手県中央会会長からは、今回の訪問に対し、「3 月 11 日の会議中に震災に遭った。被災地に対し、J A 全中はじめ全国の J A で当事者意識をもっていただいていることに感謝したい。県下 8 J A のうち、J A 新いわて、J A いわて花巻、J A おおふなどの 3 J A で大きな被害を受けており、特に J A おおふなどでは、18 支所中 9 支所で甚大な被害を受けている。事業計画にも支障が出ているが、県下 J A グループの力を合わせて、復興に向けて組合員目線に立った支援をしていきたい。J A 精神を強く持ち、県下の農家、地域への貢献を忘れずに頑張っていきたい」旨の感謝の言葉が述べられた。
- ・ その後、J A 中央会・各連・本部の代表者から資料を基に、県内の被害状況や取り組み等について報告され、復興・復旧に向けた対策や要望等について意見交換が行われた。
- ・ 最後に、茂木会長から長澤会長へ見舞金が贈呈された。



<緊急支援物資搬入計画について>

- ・ 3月28日(月)に遠野・大船渡・宮古の3方面に、Nツアーで手配したバス2台で、JA岩手県五連で用意した救援物資を積み込んで各地に搬入する。
- ・ JAグループ京都からのガスボンベ50本他の支援物資について、JA全農いわてを中心に対応。29日(火)10:00にトラックが到着し、全農車を先導にJAおおふなどに向かう。

<支援業務の状況等>

- ・ 各県からの支援物資リストのマッチングおよびとりまとめをおこなった。
- ・ 28日の3JAに搬入する支援物資の仕分けを行った。
- ・ JA厚生連施設「ハートフルもりおか」で被災者を受け入れるため、県庁から毛布130枚を確保。JA厚生連がアピオで受け取りを行った。